

# 副市長レビュー（春）協議事項調書

1 部局名 (課名)	消防局 (警防課)	
2 協議事項 (案件名)	消防ヘリコプターの機体更新スケジュールについて	
3 背景・現状 (現状把握できる統計数値など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防ヘリコプターは、2009年度の導入から15年が経過し、現機体の製造は既に中止されており、部品の入手が困難になっている。</li> <li>・消防ヘリコプターは、2010年5月の運航開始から、市内のほか、県内への応援出動、緊急消防援助隊としての活動など、1,678件（2024年末）の災害に出動している。</li> </ul>	
4 検討経過・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現機体を運航するにあたり、2031年度（22年経過）に高額な法定点検費用が発生するとともに、部品の枯渇による運休リスクが高まるため、費用対効果及び市民サービスへの影響に配慮した新機体への移行スケジュールとする。</li> <li>・2024年度に新機体の運航体制や更新スケジュールなどについて、外部有識者を含めた検討委員会において、基本構想を策定（2025年3月）した。</li> </ul>	
5-1 方向性の提案 (目指すべき姿)	<p><b>【機体更新スケジュール】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2025年度 基本計画策定（仕様書作成等）</li> <li>・2026年度 機体更新事業費の予算要求</li> <li>・2027年度 契約締結</li> <li>・2027～2030年度 機体製造、操縦士・整備士新機体資格取得</li> <li>・2030年度 機体納入、新機体訓練、運航開始</li> </ul> <p>※新機体への移行は、災害種別ごとの訓練を終えた段階で、順次災害対応を開始していく。</p>	
5-2 上記の方向性決定に向け議論する事項 (妥当性、必要性、有効性など)	<p>機体更新スケジュールの妥当性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現機体の高額な点検整備費用を考慮した更新時期</li> <li>・新機体への移行に伴う運航再開時期</li> </ul>	
6 結果	<p>■提案どおり進める</p> <p><input type="checkbox"/> サマーレビューで審議</p> <p><input type="checkbox"/> 提案内容を一部見直して進める</p> <p><input type="checkbox"/> 再度、調査研究等を行い検討</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p>	<p>具体的内容</p>
7 その他		